

(参考)

用語（表現）	用語の解説
あんていききょうゆう 安定供給システム	「国有林材の安定供給システムによる販売」のこと。間伐に伴い生産された間伐材等について、国産材需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む製材工場や合板工場等と協定を締結し、それに基づいて国有林材を安定的に供給すること。
いっかんさぎょう 一貫作業システム	造林コストの省力化を目的として、伐採から植栽までを同時に契約して行う取組のこと。
かいぼつ 皆伐	一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採する主伐の一種。
かんこうぞうりんち 官行造林地	旧公有林野等官行造林法（大正9年法律第7号）に基づき、国が公有地又は私有地に造林をした分収林であり、林野庁が管理を行っているもの。
かんすい 灌水チューブ苗	灌水チューブで生育した苗木のこと。
くくり <small>わな</small> 罫	鳥獣の通り道等へ設置し、鳥獣の足首をワイヤーでくくる仕掛けのワナのこと。
くん <small>じょう</small> 蒸	薬剤等でいぶして殺虫すること。
けいせい 経営モデル林	国有林を中心に近隣の民有林と連携して一体となって森林経営を行う体制を構築するためのモデルとなる森林のこと。
こうえきてききのういじぞうしんきやうてい 公益的機能維持増進協定	国有林と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林について、森林管理局長と森林所有者等が協定を締結し、当該民有林の整備及び保全を行うことができる制度のこと。（「森林共同施業団地」の場合と異なり、民有林においても、国有林野事業として事業を実施することが可能）
こうえきてききのうべつせぎょうしんりん 公益的機能別施業森林	森林の有する公益的機能の高度発揮が求められ、森林の樹種構成、林道の整備状況等地域の実情からみて、これらの公益的機能の維持増進を図るための森林施業を積極的かつ計画的に実施することが必要かつ適切と見込まれる森林の区域のこと。
こうせいのうりんぎやうきかい 高性能林業機械	従来のチェーンソーや集材機等と比べて、作業の効率や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械のこと。主な高性能林業機械は、フェラーバンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワード、タワーヤード、スイングヤード。
コンテナ苗 (マルチキャビティコンテナ <small>なえ</small> 苗)	マルチキャビティコンテナ（根巻き防止などの工夫が施されたプラスチック製の苗木生産用容器）で生育した苗木のこと。
ざんぞんかたわく 残存型枠	解体を必要としない型枠のこと。丸太残存式型枠は、治山ダム等のコンクリートを打設（打ち込む）する際に使用する型枠に丸太（間伐材）を使用したもの。
GIS	Geographic Information System（地理情報システム）の略で、地図や空中写真等の森林の位置や形状に関する図面情報と、林種や林齢等の文字・数値情報を、コンピューター上で総合的に管理、分析、処理するシステムのこと。

じごしら 地拵え	苗木を山に植栽する前に、苗木の生育環境を良くするため、伐採した木の枝や、かん木などを取り除き筋状に並べる作業のこと。
しちょうそんしんりんせいびけいかく 市町村森林整備計画	地域森林計画の対象となる民有林が所在する市町村が、森林・林業関連施策の方向や森林所有者等が行う伐採・造林・間伐などの森林施業の指針などを定める計画のこと。
しんりんきょうどうせぎょうだんち 森林共同施業団地	民有林と国有林が隣接している地域において、地方公共団体や民有林所有者等と森林管理署等が協定を締結し、民有林と国有林が相互に利用できる効率的な作業道の整備や、計画的な間伐等の森林整備を行う団地（森林）のこと。
しんりんけいけいけいかく 森林経営計画	「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画のこと。
しんりん りんぎょうけいけいこうどか 森林・林業経営高度化プラン	京都府の森林施業の集約化、機械化による意欲ある林業事業体の育成と、森林・林業の経営高度化及び府内産木材のサプライチェーン構築による木材の利用拡大を図るためのプランのこと。
しんりん・りんぎょうこうりゅうはっぴょうかい 森林・林業交流発表会	公益的機能の高度発揮のための森林施業、民有林経営への支援となる林業技術や手法の確立、森林環境教育の推進、民有林・国有林が連携した森林・林業の再生に向けた取組や業務を通して得た創意工夫の成果の普及・定着を図ることを目的とした発表会のこと。
ぜつめつぎくしゆ 絶滅危惧種	絶滅の危機にある生物種のこと。 絶滅の危機に瀕している種 → 絶滅危惧Ⅰ類 絶滅の危機が増大している種 → 絶滅危惧Ⅱ類
ちよつかつちさんさいがいかんれんきんきゆうじぎょう 直轄治山災害関連緊急事業	災害により新たに発生し、又は拡大した荒廃山地又はなだれ発生地につき、当該発生年に緊急に行う復旧整備に係る保安施設事業のこと。
ちよつかつちさんしせつさいがいうつきゆうじぎょう 直轄治山施設災害復旧事業	林地荒廃防止施設又は地すべり防止施設が被災した場合の復旧事業のこと。
てい 低コスト造林（林業）	従来の造林作業と比べ、地拵えや下刈回数の省略化等によりコスト削減を図る造林方法のこと。
てつこう 鉄鋼スラグ	鉄鋼製造工程において副産物として発生するもので、高炉スラグと製鋼スラグがある。
が ナラ枯れ	ナラ類が集団で枯れる「ナラ枯れ」は、「ナラ類集団枯損」、「ナラ類集団枯死」とも呼ばれ、カシノナガキクイムシ(Platypus quercivorus)が繁殖のため材内に穿入し、その際、持ち込まれた病原菌(Raffaelea quercivora：通称ナラ菌)によって木が枯死する伝染病のこと。
いたかたわく まく板型枠	治山ダム等のコンクリートを打設（打ち込む）する際に使用する型枠に板材と角材を組み合わせてパネル化したもの（まく板）を使用したもの。
もくさくこう 丸太筋工（丸太筋工）	間伐材を柵状に配置し、斜面表土の流出防止を図る工法のこと。

れつじょうかんぱつ
列状間伐

間伐の方法の一つ。作業の低コスト化等を目的に、伐採や搬出に都合の良いように一定の間隔で列状に間伐を行う方法。